

第2節

地域別の取組

世界では国や地域によって抱える課題や問題が異なります。現在の国際社会における開発課題の多様化、複雑化、広範化、グローバル化の進展等に鑑みれば、世界全体を見渡しつつ、世界各地域に、その必要性和特性に応じた協力を行っていく必要があります。日本は、これらの問題の経済的、社会的背景なども理解した上で、刻一刻と変化する情勢に柔軟に対応しながら、重点化を図りつつ、戦略的、効果的かつ機動的に開発協力などを行って開発途上国の問題解決に取り組んでいます。

図表 III-7 ◆ 二国間政府開発援助の地域別実績(2014年)

(単位：百万ドル)

援助形態 地域	二国間政府開発援助							支出純額		支出総額		
	贈与			計	政府貸付等			合計	対前年比 (%)	合計	構成比 (%)	対前年比 (%)
	無償資金協力		技術 協力		貸付 実行額 (A)	回収額 (B)	(A) - (B)					
	うち国際 機関を通 じた贈与											
アジア	854.95	321.57	695.86	1,550.81	5,720.45	5,294.13	426.32	1,977.13	-42.7	7,271.26	58.3	-42.0
東アジア	390.08	42.60	486.02	876.11	3,297.00	4,124.49	-827.49	48.62	-97.4	4,173.11	33.5	-57.2
北東アジア	22.51	—	36.47	58.98	202.94	1,047.83	-844.89	-785.91	-23.4	261.93	2.1	-48.4
東南アジア	366.50	41.53	441.92	808.42	3,094.06	3,076.66	17.40	825.82	-67.0	3,902.48	31.3	-57.7
南アジア	148.59	22.98	152.10	300.69	2,251.40	1,083.43	1,167.97	1,468.66	10.4	2,552.09	20.5	4.7
中央アジア・ コーカサス	52.34	4.41	32.74	85.08	172.05	86.21	85.85	170.93	8.4	257.13	2.1	3.5
アジアの 複数国向け	263.93	251.58	25.00	288.93	—	—	—	288.93	218.1	288.93	2.3	218.1
中東・ 北アフリカ	433.52	330.44	165.42	598.94	843.80	632.49	211.32	810.26	-47.4	1,442.74	11.6	-36.1
サブサハラ・ アフリカ	760.01	340.72	386.14	1,146.16	497.11	85.85	411.26	1,557.42	-27.1	1,643.27	13.2	-43.3
中南米	105.57	18.10	158.22	263.79	170.43	404.47	-234.04	29.75	187.1	434.23	3.5	12.1
大洋州	78.23	0.35	44.93	123.16	4.90	19.14	-14.25	108.91	-10.5	128.06	1.0	-9.5
欧州	32.76	7.16	15.17	47.93	144.45	60.63	83.81	131.74	4,118.6	192.37	1.5	200.6
複数地域に またがる援助等	184.97	150.85	1,168.10	1,353.07	—	—	—	1,353.07	2.9	1,353.07	10.9	2.9
合計	2,450.01	1,169.20	2,633.84	5,083.85	7,381.14	6,496.72	884.42	5,968.28	-30.0	12,464.99	100.0	-36.4

*1 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

*2 [-]は、実績がまったくないことを示す。

*3 卒業国向け援助を含む。

*4 無償資金協力には国際機関経由の援助のうち、国別に分類できる援助を含む。

*5 複数地域にまたがる援助等には、複数地域にまたがる調査団の派遣等、地域分類が不可能なものを含む。

*6 「アジアの複数国向け」の実績には、OECD-DACの基準に基づく数値を使用しているため、一部の中東地域を含む複数国向けの実績が含まれている。

*7 マイナスは貸付などの回収額が供与額を上回ったことを示す。